

2024 年 9 月 13 日 12:15~13:00

於 栃木県宇都宮市 宇都宮大学 陽東キャンパス アカデミアホール

1. 会長挨拶：高野会長より挨拶があった。
2. 大会長挨拶：朝比奈大会長より挨拶があった。
3. 総会議長選出：宮沢会員が選出された。
4. 報告事項
 - (1) 庶務幹事報告：武智庶務幹事より 2023 年度の活動報告が行われた。会員数は昨年度に長期会費未納者の除籍などを行ったため、減少していることが報告された。
 - (2) 編集委員会報告：稲田編集委員長から 2023 年度の活動報告が行われた。Plant Morphology Vol. 35 の刊行状況について報告があった。著者から徴収している別刷代金は、別刷自体の印刷費用代を充当する程度の収入にしかになっていないため、投稿規定に載っていた、「別刷購入のお願い」、の文章を削除することを評議員会で認めて頂いた旨の報告があった。
 - (3) 広報委員会報告：栗原広報委員長から定期的な学会 HP の更新を行っているとの報告があった。また HP の「最新の研究」への投稿と、このページに載せる最新論文の情報提供の依頼があった。
 - (4) 会計報告：岩元前会計幹事より、2023 年度の会計報告が行われた。また、宮城島会員から会計監査の結果、会計は適正に行われていたとの報告があった。
 - (5) 3 賞選考結果について：松永選考委員長により選考過程及び結果の報告があった。学会賞は東山哲也会員、平瀬賞（代表受賞者）は古谷朋之会員、風間裕介会員、水多陽子会員を選考した。奨励賞は応募がなかったため、次年度は積極的な応募の声かけをお願いしたい旨、依頼があった。
 - (6) 2024 年度大会について：朝比奈大会会長より 2024 年度大会(宇都宮)について現状の報告があった。
 - (7) 2025 年度大会(福岡)について：高野会長より来年度の福岡大会について、日本植物学会大会と同じ福岡国際会議場が第一候補であるが、会場費が高額なため、学生以外の会員の参加費を千円程度値上げすることを検討しているとの発言があった。未定の大会長の選出も含め、意見あれば、学会執行部に連絡頂きたいとの依頼があった。
 - (8) 生物科学学会連合報告について：高野会長より第 29 回生科連定例会議について報告があった。既に会員にメールで周知している通り、科研費の全体額増額に関する署名運動が開始されており、賛同の署名をお願いしたい、と発言があった。
 - (9) その他
 - 入会届の Google form 化：武智庶務幹事より、入会届の Google form 化を行ったので、今後は form を積極的に利用して欲しい旨、依頼があった。
 - 2023 年ポスター賞について：武智庶務幹事より、昨年度のポスター賞の賞状に代表発表者の氏名しか記載されていなかったため、新たに全発表者の氏名を記した賞状を代表発表者に郵送した旨、報告があった。
 - 宇都宮大会での小学生の発表について：非会員の小学生から宇都宮大会で研究発表を行いたい旨、当学会に問い合わせがあった。評議員会で審議し、学会への入会や大会参加費の徴収を不要とする特例参加を認めることとした、との報告が武智庶務幹事よりされた。

- 編集委員（J-stage 担当）について：評議員会で審議し、Plant Morphology の J-Stage での公開と原稿管理を行うため、編集委員（J-stage 担当）を新設し、唐原会員に委嘱することとなった旨、高野会長より報告があった。
- 要旨登録フォーマットへの記載等について：大会の要旨登録フォーマットへの記載方法や、フラッシュプレゼンの様式を守らずに提出するケースがあったため、次年度以降、注意して欲しい旨、林大会準備委員長より発言があった。
- Plant Morphology OA 化について：高野会長から、学会誌 Plant Morphology の掲載論文について、即時オープンアクセス化を評議員会で検討しているとの発言があった。それに伴い、また学会の予算状況を好転させるために、論文掲載料の新設も検討している、との発言もあった。冊子体については廃止せず、維持する見込みであることも説明された。これらの点について、意見あれば、学会執行部もしくは編集長まで連絡頂きたいとの依頼があった。

5. 審議事項

- (1) 2024 年度事業計画：2024 年度事業計画案(ただし 8 月下旬までは実績)について、武智庶務幹事から説明があり、了承された。
- (2) 2024 年度予算案：小林会計幹事より 2024 年度予算案の提示があり、了承された。
- (3) 3 賞選考要項の改定について：高野会長より、3 賞の内、特に平瀬賞選考において、利害関係者を除くと十分な数の選考委員を選べないケースが生じること等の問題点が説明された。これらを防ぐため、評議員会で審議された新たな選考要領が説明され、了承された。
- (4) Plant Morphology の句読点の変更について：稲田編集委員長より Plant Morphology 誌の日本語の句読点を「。」と「、」に変更したいとの提案がなされ、認められた。